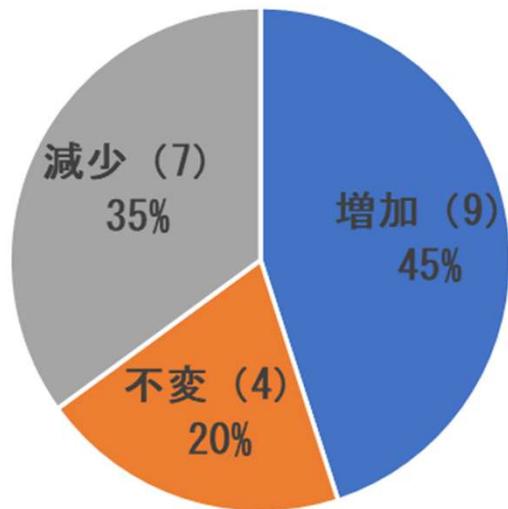


令和7年度景況調査

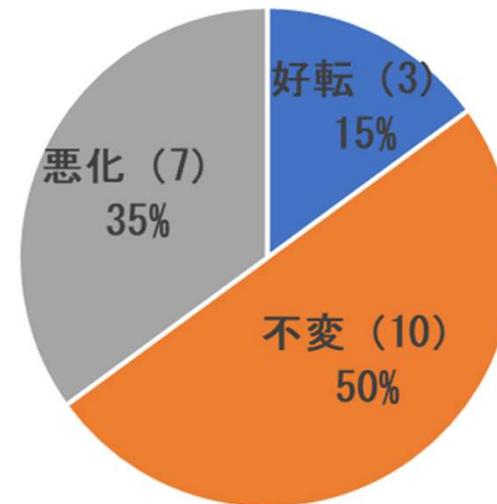
第二四半期(7月～9月)

①調査結果（その1）

売上高の状況（前年同期比）

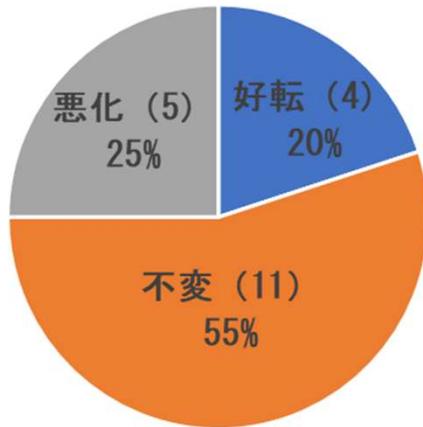


経常利益の状況（前年同期比）

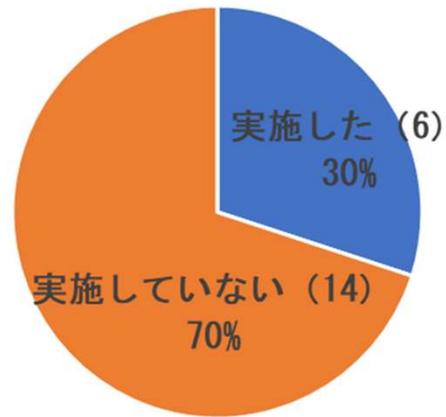


①調査結果（その2）

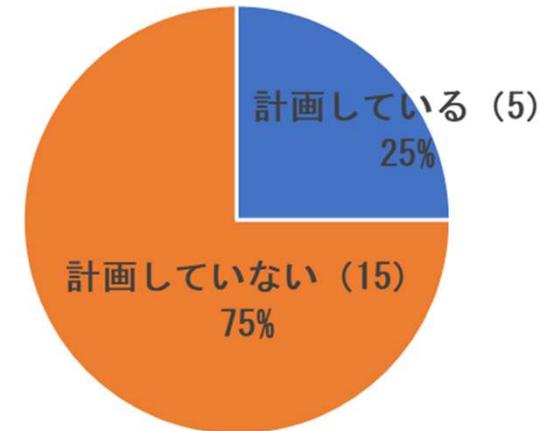
自社の業況（前年同期比）



設備投資の実施（今期）



設備投資の実施（来期）



②分析結果

売上高については、20社のうち9社が前年同時期と比較して増加しており、7社が減少しています。昨年と比較して製造業や飲食業等で増加傾向にあった一方で、建設業や小売業では減少傾向にありました。

経常利益については、50%が「不変」、35%が「悪化した」と回答しており、長引く仕入価格の高騰等を要因として経常利益の伸びにはつながっていないことが見て取れます。

設備投資については、今年の7-9月期で実施した事業所は30%であり、来期の設備投資の計画についても全体の1/4に留まっています。前期に引き続いて現状維持をする事業所が多いことが窺えます。商工会はこうした状況を踏まえながら、国や県、町の支援施策を有効に活用し、前向きな設備投資に対し継続的に支援を行なっていきます。